

1. 交通網による世界との結び付き

(1) 資料Ⅰと資料Ⅱから、日本の海上輸送貨物と航空輸送貨物の特色をそれぞれまとめてみよう。

海上輸送貨物	航空輸送貨物
(例) 原油や液化天然ガスなどの重量の重い資源や輸出用の自動車などが海上輸送で運ばれている。	(例) 軽量で価格の高い電子部品や化学品、精密機械などが運ばれている。

(2) 資料Ⅲから、日本の出国者数と訪日外国人数の変化をまとめてみよう。

(例) 日本人の出国者数は1985年ごろから急増したが、近年は、1800万人前後で安定している。一方、日本を訪れる外国人は、年々増加し、2018年には3000万人を超えた。

2. 交通網の整備と生活の変化

(1) 資料Ⅳから、国内輸送の変化についてまとめてみよう。

旅客	(例) 鉄道による輸送の割合が減少し、自動車と航空機の輸送の割合が増えた。
貨物	(例) 鉄道による輸送の割合が大幅に減少し、自動車の割合が約60%を占めるようになった。

(2) (1)のように変化してきた理由を考えてみよう。

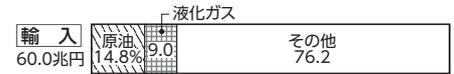
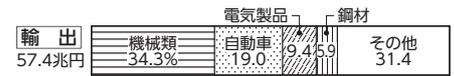
(例) 高速道路が全国に整備されたことにより、自動車で移動する人が増えたほか、トラック輸送が大幅に増えたため。

3. 通信網の発達と生活の変化

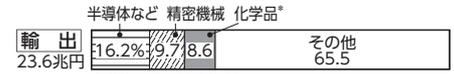
情報通信機器の普及や通信網の整備によって、便利になったことについて説明してみよう。

(例) インターネットの普及によって、離島や農山村でも全国から商品を購入できるようになったほか、遠くにいる医師の診療を受けることができるようになった。

資料Ⅰ 日本の海上輸送貨物

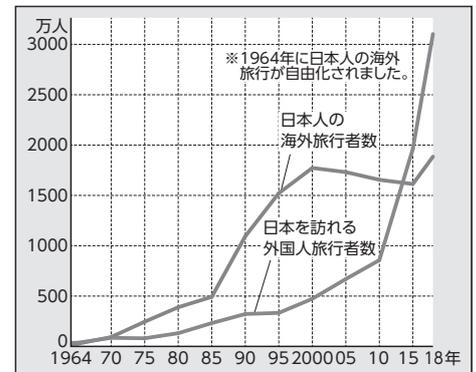


資料Ⅱ 日本の航空輸送貨物

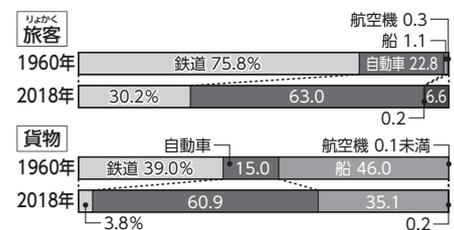


*医薬品などを含みます。

資料Ⅲ 日本人の海外旅行者数と日本を訪れる外国人旅行者数の推移



資料Ⅳ 国内輸送の内訳の変化



本時のまとめ

◆ 交通網や通信網の発達によって、どのような変化が生じたのか、説明しよう。

(例) 世界各地を結ぶ航空路線が拡大し、世界中で高速通信網が整備されたことでグローバル化が進んだほか、情報通信技術 (ICT) の発達で生活が豊かになる人々がいる一方で、ICT を利用できない人の間で情報格差や所得格差が広がっている。